五所川原町報

北津軽郡五所川原町
発行所　五所川原町役場
電話（二八番　一一八番　三一九番）
発行兼編集人　庶務課　廣報係
印刷所　陸奥印刷株式会社

水道課よりお願い

例年のこと乍ら夏分になりますとらくの間、水道の乱用流し放し、道路面の散水等、せぬよう何卒節約方御協力下るようお願いいたします。水の需要量が増すのと湯水期に入る関係から給水が全般的に円滑に行かづ不自由かけておりますが、今しば

夏休みを迎えるに当つて

五所川原小学校

夏休みには、子供たちを自律的に生活させるように考えていき、子供の自発性、計画性を伸ばしたいと思います。夏休みは子供にとつて大切な意味のあるものであります。若し夏休みを子供たちの自発性、計画性を伸ばすときとして利用しなかつたり、成積の悪い学科をむりに勉強させる期間としたりするならば、子供にとつてつまらないものとなり、苦しいものとなつていくでしょう。そして九月の新学期も大きな希望をもつて迎えることが出来ないでしようたゞし、子供たちですから、いつも家庭では、注意深く子供を見守つてやらなければなりません。次に夏休みの注意事項を簡単に述べてみましよう。

一、早起き、早寝
二、涼しい中に学習する
三、一日何かお傳いする
四、外で運動ほがらかに
五、暴飲暴食をつつしむ
六、お祭り、ネブタ、盆踊りは、早目に帰る
七、火の用心、田畑荒し
八、水泳
1　水泳前
イ　必ず家の人の許可を得て場所、人数、帰宅の時刻を教える
ロ　食事の直後、非常に空腹の時は中止
ハ　不潔な所、危険な所に入らない。
ニ　準備体操
2　水泳中
イ　長時間水の中に入つていない。
ロ　ふざけたり、溺れたまねをしない。
ハ　あまり深いところに行かない
3　水泳後
イ　よく身体を洗う
ロ　水泳食後冷たい飲食をさける。
ハ　一緒に行つた人は一緒に帰り、家の人に報告する

夏休みは家庭教育の期間です。夏休みに入る前に、子供と話し合つて子供の計画を聞き、子供が喜んで自律的に生活するよう、家庭で先づ考えていただきたいものです。子供は放任された状態ではよくなつていきません。

町議会の動き

◉定例町議会（六月十二日）
一、都市計画『青森地方審議会委員選挙田附健四郎氏に決定の件』
一、町有土地貸付の件　可決
一、五所川原町外六ケ村合併促進協議会規約制定の件　可決
一、専決処分報告の件（上水道事業費地起債及償還方法議決中変更の件）　可決
一、昭和二十九年度町歳入歳出追加予算の件　可決
一、歳計剰余金運用の件　可決
一、五所川原町外六ケ村合併促進協議会委員選任の件
古川　篤三郎
菊池　清助　氏に決定す

◉臨時町議会（七月三日）
一、合併に関する協定の件　可決
一、市町村の廃置分合に関する件　可決
一、市町村の廃置分合に伴ふ財産処分に関する件　可決
一、市町村の廃置分合に伴ふ栄村、長橋村、学校組合の解散並びに財産処分に関する件　可決
一、合併に伴ふ議会議員の任期の特例に関する件　可決
一、合併に伴ふ教育委員会の選挙による委員の定数及び任期の特例に関する件　可決
一、五所川原市建設計画設定の件　可決
一、国民健康保険規約制定の件　可決
一、五所川原町農業委員会による委員の定数定例制定の件　可決
一、国有地拂下申請の件　可決

夏季休暇のくらし方について

五中生徒指導部

本校の夏休みは七月二十七日から八月二十日までの二十五日間です。その間に、八甲田、岩木登山や小泊の臨海学校開設、特別課外指導等の計画もありますが、大部分は学校という共同生活から離れて家庭に朝から晩までいられることになるので何所の家でも子供の生活指導なり、監督、助言には相当頭を腦ましていると思われます。その事については学校として休みに入る前に町内生徒班の自主的会合を持ち、生徒としての態度をきめ各町内毎に計画を樹てゝ顧問の先生と共に強力実行してゆく筈でありますから、くどいことはぬきにして、学校として望ましいことがらを数え歌式に掲げて一般の参考にしたいと思います。

夏休み数え歌

一つとや　人の迷惑考えよ　狭い通りの遊びごと。
二つとや　不思議に怪我する町の角よく見て歩け右左。
三つとや　水浴び、蟹取り、船遊び
ひとりは危険氣をつけよ。
四つとや　夜の出歩きやめましよう
映画みるなら晝の中。
五つとや　いつでも返事はがらかに
仕事の手傳いよくはげめ。
六つとや　むだ食い　がぶのみ　下痢のもと　夜の寝冷に氣をつけよ
七つとや　何だかんだとぐちをいう
我儘すてゝ笑い顔。
八つとや　やつておきましよ宿題を
朝の涼しい窓あけて。
九つとや　困つたことはかくさづに
必らず知らせよ親の耳。
十とや　時計の針にきめておけ
くらしの設計わすれずに。

「みんなで寄生虫を退治しましょう」

十人のうち七人以上あります。
一、寄生虫がいると？
発熱、めまい、しつしん、異味症（かゝ、土、すみなど食べたがる）神経すいじやく、食慾不振、便秘けいれん、貧血、どうき、やせるむくみ、むねやけ、腹痛等の症状があります。
一、寄生虫（卵）はどうして体に入るか？
1　体内の親虫が生んだ卵が便と一緒になつて出る。
2　卵が生きていると畠などで適当な温度と濕氣のもとに発育し仔虫が育つ
3　野菜に虫卵が包蔵されて体内に入る
一、寄生虫が体内にいるかはどうしてわかるか？
◎便を顕微鏡で見る
一、寄生虫がいたらお医者さんから貰つた薬をのんで二週間後にもう一度虫卵の検査をする。
◎野菜を生で食べる時は必ずよく洗つてから
◎便所から汲み出した下肥は肥だめで二、三ケ月間貯蔵し、腐らせて中にまじつている卵を殺しましよう。
寄生虫の検査はみな様の保健所でしてくれます。

農業夏期基本調査実施

本縣に於ける農業の経営及生産の基本構造を統計的に把握し縣及び市町村の行政の基礎資料を得るための調査であつて課税の資料とが供米割当の資料に使用するものでありませから係員が伺つた時は宜しく御協力下さい。

記

一、調査期日　昭和二十九年八月一日現在
一、調査の範囲
経営耕地面積一反歩以上
一、調査事項
1　世帯員数及び常雇数
2　年間の農業臨時雇入延人員数
3　専業、兼業別
4　農業収入の種数
5　経営耕地面積
6　農機具所有台数
7　家畜、家禽飼養頭羽数

五所川原まつり

自　八月一日（旧七月二日）
至　八月五日（旧七月七日）

例年の五所川原まつりも八月一日より五日間行はれるが行事日程は左記の予定です

記

会期中全商店の連合大売出し
八月一日　民謡座長大会（西北中学校相撲大会）
八月二日　自転車競走
八月三日　登山囃子大会（花火大会）
八月四日　全国チンドンヤ大会（ねぶた巡行）
八月五日　七夕祭（ねぶた運行）（放樂相撲）
其の他諸種興業計画中

主催　五所川原町商工會議所
後援　五所川原町役場

公民館行事予定表（七月）

8農作物作付延べ面積

十五日　書道研究会、社会講座
十六日　〃
十七日　スクエアチャーチル会
十八日　ナトコ映画会
十九日　コーラス会
二十日　考古学会
二十一日　レコードコンサート
二十二日　書道研究会
二十三日　〃
二十四日　スクエアー
二十五日　チャーチル会
二十六日　コーラス会
二十九日　書道研究会
三十日　〃
三十一日　スクエアー

塵芥運搬豫定

（七月分十日以降）
十日　東町、布屋町
十二日　彌生町、鍛谷町
十三日　柳町、岩木町
十四日　川端町
十五日　寺町、大町
十六日　大町、旭町
十七日　旭町
十九日　敷島町、下平井町
二十日　中平井町、平井町
二十一日　上平井町、柏原町
二十二日　幾島町、新宮町
二十三日　錦町
二十四日　更生街
二十六日　元町
二十七日　田町、栄町
二十八日　田町、新町
二十九日　本町
三十日　東町
三十一日

我が町の人口

（六月末日現在）
人口　一三、七七四
世帯数　二、七三一

町税は納期内に必ず納めませう

昭和二十九年度町税令書がでました

〔税務通信〕

町民税・縣民税　第一期
固定資産税　第二期

【納期日は七月三十一日です】

赤痢は狙つている

あなたの手を…口を……

（悪魔）

傳染病の流行期になりました。みなさま御承知の事でしようが、各地で相当数の赤痢の集団発生が発表されております。

一人でも当町に発生した場合は根治するまで相当日数を要するばかりでなくお互に困りますので次の点に注意いたしましよう。

一、食前、用便後はかならず手を洗ふこと。

二、蠅や『ねづみ』は傳染病の媒介をしますから徹低的に駆除すること。

三、下痢、発熱があつた場合は早期に診断を受けること。

四、食べ物の腐り易い時期ですから煮たものでも味が変つたり、蠅が仔を生んだものは食べないこと。

五、暴飯暴食は病氣のもと。

六、生水は一度煮沸してから飲むこと。

◉赤痢の病状

1『さむけ』がして身がだるくなり発熱してくる（三七度…三八度）

2 吐氣嘔吐について下痢がはじまつてくる。

3 下痢がはじまると仙痛様の腹痛がおきてきて、それがだん〳〵強くなつて一、二日すると粘血便となり用便後すぐ便意を催してくる。

◉子供の疫痢の症状

1 いままで元氣で遊んでいた子供が急に元氣がなくなり『グツタリ』してくる。

2 顔面蒼白となり手足が冷いのに熱が急に高くなる（三八度…四〇度）

3 吐氣、嘔吐があり意識が『ボンヤリ』してやがて『うわ言』を云つたり、『ひきつけ』が起つたりする。

4 便は始め、軟便が二…三回あつて不消化便ですが次第に水様便となり、やがて粘血便をみるようになる。

赤痢（疫痢）は年々増加していますから食べものに注意し身具合の悪い時は早目に診断を受けてください。

（すもう）再び大江山力士を紹介す

福士貞蔵

五所川原出身の大江山九郎兵衛（つて態々大江山を訪ねて來た。第四代信政公時代の力士）は日本一の名を得たる龍田太衛門の弟子である。龍田は三代の藩主信義公の抱力士で、当時江戸大相撲日ノ下関山と稱せられたる鬼鹿手を士表の眞中に投付け、再來鬼龍田と唱えられたが大江山が得意の『左より』の手にかかつては流石の師匠もあます程であつたと云ふ。

大江山は秋田、山形、南部、仙台其の他各郎抱力士の対抗相撲に未だ曾て負けた事がなかつたので、其の名声が江戸相撲力士間にも話題に上つていると見え、ときの大関武蔵野一行が当国に於いて興行の除、二斗入の酒二樽と千鮭（かげを）五本持つて拜礼し、夫より仕度調ひ土表に出

其の際大江山は七十才以上の老令ながら、右手を一斗樽のふちにかけて軽々と捧げ、大杯に満々と注いで二盃呑みほし、さア一盃と武蔵野に迫した。加之歯も亦丈夫で大切の干鮭を恰かも若者が食べるがごとき勇壮な態度に武蔵野も魂消げに了つたとは有名な話であるが、奥富士物語に『興行中は精進潔齊して、毎晩七つ時より垢離等身を清め、岩木山を拜し、未明に師匠龍田が門前に至り拜礼し、夫より仕度調ひ土表に出ず、左程に大事掛候故一代の間不覚之取方なく、天下に名を顯すにも至り申すべし也云々』

とあるを観れば、大江山はびとり力が強いばかりでなく心掛の立派な人格者であつたらしい。我が五所川原に産つては斯かる立派な大力士のあつたという事は町の誇りの一ツとして永遠に傳ふべきであろう。

因に錦町の木村正友（現消防署員）氏は其の後裔と云はれている。

身体障害者福祉法による巡回診査等について

右について左の通り実施されるから障害手帖の所有者は勿論新に申請する方も受診される様お知らせする

左記

一、耳鼻咽喉科関係
七月十五、十六日

二、整形外科関係
七月二十八日

西北病院

備考
当日補聴器及び義肢義足等の修理をする方は事前に民生課へ申込下さい。

旧軍人軍属の傷病恩給について

旧軍人軍属に対する傷病恩給の一部改正に伴う事務処理上左記該当者は民生課までおしらせ下さい。

左記

1 昭和二十一年三月一日以前に七項症の増加恩給及第一欵症から第四欵症までの傷痍年金並びに第一目症から第二目症までの傷病賜金の裁定の受けたことのある者。

2 昭和二十一年二月一日以後において傷病賜金の裁定を受けたことのあるもの。

3 第三項症以上の有期の増恩給を受けたもので再審査の結果病状低下（第七項症以下）により増加恩給を支給せられなつたもの。

戸籍の窓

出生
男　四名
女　三名
計　七名

死亡
男　五名
女　五名
計　十名

出生

勝末三男　成田勇元町
佐之進二女　山土セツ子　柳町
鉄夫長男　長谷川俊彦　大町
啓二長男　佐々木孝昌　大町
政治二女　小田桐笑美子　幾島町
逸造四女　森眞佐子　田町
清助長男　山川眞毅　川端町
徳太郎長女　木村惠美子　鎌谷町
誠造三女

死亡

三上さわ 61才 中平井町
小笠原コト 69才 柳町
市之進長女 小寺初子 柳町
鉄雄二男 木村秋彦 幾島町
康杓長女 柳福善 錦町
清美長女 土岐美子 上平井町
吉雄三男 小山内仁 布屋町
善三郎二男 一戸俊二 栄町
末次長男 瀧田浩一 元町
久三長男 田中新一 敷島町
五郎長女 佐藤伊津子 彌生町
良造長女 岩谷良子 幾島町
米松長女 宮崎惠美子 栄町
武雄二男 船田稔 上平井町
景俊三男 金秀憲 大町
義邦長女 中道庸 柳町
政治長男 松本秀敏 中平井町
宮司二男 鈴木登 彌生町
良英二男 唐牛克彦 新町
金雄三女 兼平睦子 錦町
齊藤馥 中平井町
外崎なつ 51才 布屋町
水上きた 57才 元町
対馬常三郎 64才 彌生町
加藤豊吉 70才 下平井町
藤森兼作 65才 柏原
小田桐藤夫 0才 元町
伊香金五郎 81才 錦町
小田桐三枝子 0才 敷島町

人事異動

五月一日付
技術吏員に任命する
近藤利滿

技術吏員に任命する
書員を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる
五月七日付
管原ツネ

技術吏員に任命する
看護婦を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる
六月五日付
小山内良子

雇を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる
七月一日付
臨時雇澤爲永
願により臨時雇を解く
鶴谷康之助
臨時雇を命ずる
税務課制務を命ずる
山本イヨ
臨時看護婦を命ずる
町立五所川原病院勤務を命ずる
臨時雇島田克孝
雇を命ずる
町長室勤務を命ずる

みんなのための住民登録

（1）転入、転出は心ず十四日以内に届けて下さい

（2）公民権は住民登録で

自七月一日
至七月末日〉一斉調査

心の用の火

大人も
子供も
喜ぶ花火遊び
は
後仕末の点検を
忘れぬよう